

## 2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 藤岡市立小野小学校 ] 担当教諭名 [ 柰師 正美 ] ( 5年1・2・3組 96名 )

相手国・地域 [ 台湾 ]

海外学校名 [ Wen Hua Elementary School ] 担当教諭名 [ Fifi,Ya-huei,Fu ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	伝えよう 群馬のたからもの	33
	図工	伝えよう すてきなふるさと	14
	外国語	伝えよう 群馬のたからもの	12

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	伝えよう 群馬と台北のたからもの
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	「地域のたからものを、世界の仲間と共に守り、未来に残そう」 日本(群馬)と台湾(台北)のたからものは、すべてが世界共通のたからもの。そこに 住む人々の歴史や文化が詰まっている。ぼくたち、わたしたちの大切なふるさと、お 互いのふるさとのたからものを大切にして、未来へとつないでいこう。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
子どもたちが意欲的に学習に取り組み、お互いの想いを込めた壁画を完成させることができた。また、交流会を通して日本の文化を伝えたり、相手の地域の良さを知ったりすることで相互理解が深まった。子どもたちが学習を進める中で、海外に目を向けるようになった。	相手校と円滑にやりとりするためには、英語を話したり、メールなどで使えたりすることが必須である。言っていることは分かっていても、こちらが伝えたいことを正確に英語にできないというもどかしさがあった。大きな行事と Skype 交流や日本での交流会が重なり、準備に手間取ったので、計画的に進める必要がある。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
今までは、外国というとても遠い存在で自分たちとの関わりも薄いものだったが、今回の交流を通して、台湾がとても身近な存在になった。“台湾のことを知りたい”、“台湾の友だちと話がしてみたい”、“台湾は何が有名なのだろう”、“日本とどう違うのかな”、“英語や台湾語を勉強したい”など次々に興味や関心が沸き、自学ノート等に取り組む様子も見られた。	言葉や文化の壁があり、上手くいかないこともあるのではないかという不安があったが、ボランティアの協力や、相手校の先生とのやりとりの中でそういった不安が徐々に解消された。台湾の文化や人となりを感じながら最後まで楽しく交流することができた。メールやフォーラムのやりとりだけでなく、実際にお会いできたときには、とても感動した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	10月	自分の名前と好きな物の英単語を画用紙に書き、それを持ちながらお互いに Skype で自己紹介をした。	相手に伝わりやすいように文字を大きく書く子や、発音に気を付けて話そうという意欲の高い児童もいた。初めて Skype 交流をしたときには、お互いとても嬉しそうだった。	総合5 外国語3
共有 テーマ学習	9月 10月	自分たちの地域の良いところを伝えるために調べ学習をした。伝えるための文章をボランティアに英訳してもらい、英語の練習をした。	英語の発音を家で調べたり、繰り返し練習したりなど、意欲的に活動に取り組んだ。画用紙に関連した写真や英単語を書き、分かりやすく工夫していた。	総合9 外国語5
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	お互いの地域の良いところについて Skype で伝え合った。(2回)伝え合う中で、お互いの地域の良さを世界に伝えていきたいという想いを共有した。	相手の国の文化や歴史の違いについて興味を抱き、真剣に相手校の発表を聴いていた。英語が分からなくても、分かる単語から類推していた。	総合15 外国語4
創造 壁画制作	12月	ふるさと群馬のよいところについて一人一人が構成を考え、版画を制作した。子どもたちが考えた絵の中から、良いものを選び、壁画を構成した。下絵を描き、全員で着色した。	自分たちのふるさとの良いところが描かれている下絵を見て、嬉しそうだった。丁寧に心を込めて着色し、完成した壁画を見て達成感を感じていた。相手校の絵が届くことを心待ちにしていた。	図工14
評価 振り返り 自己評価	3月	台湾の小学生が小野小学校へ完成した壁画を持ってきて一緒に鑑賞した。日本の小学校体験や、異文化交流をした。	交流会や壁画制作を通して、相手の国への興味関心だけでなく、理解が深まった。	総合4 (理科1 音楽1)

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	紹介したい群馬の良い所を付箋紙に書く活動では、どの子も10枚以上書き、ふるさとの魅力について伝えたくてたまらない様子が見えた。
異文化を理解する力	5	相手校との交流後、感想を言ったり書いたりする場面では多くの児童が聞いたことを理解しようとし、台湾についての関心を高めていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	自分からすすんで群馬の良いところについてインターネットを用いて調べ学習をした。家でたくさん調べ、自学ノートにまとめている子もいた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	交流会では、ジェスチャーや簡単な英語を使いながら、相手に伝えたいという気持ちで積極的に交流することができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	相手とのコミュニケーションを取ることに精一杯。ジェスチャーや簡単な英単語で一生懸命に伝えようとしていた。
主体的に考え行動する力	4	お互いの地域の魅力を表した壁画を協働制作していくという目的を知った後、英語が必要だということに気づき、積極的に発音練習をした。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	交流会では、折り紙やあやとりなど日本の文化に触れてもらうためにグループを作って体験をしてもらうために計画し、実行した。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自分たちの誇るふるさと群馬の魅力について一人一人が版画を制作し、良いところを持ち寄って一枚の壁画をつくることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	お互いの地域の良いところを説明し合い理解することで、さらに相手への関心が高まった。自分たちの成果もしっかりと振り返ることができた。